

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立鳩ヶ谷高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、「生徒一人一人が主体的に学ぶ力を育成する」という部分に反映させるなど、生徒・保護者などの期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が具体的に示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。学校の置かれた状況などを把握した上で、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝え、共通理解が図られている。評価項目が年度達成目標としては抽象的なもので、明確かつ重点化された目標となるように工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学科を越えて互いを高め合うため「ミックスホームルーム」を導入するなど組織的・計画的な取組が増えてきて、成果も見られ始めている。当該年度を通じて局所最適による改善を進めるために新たな視点で具体的な方策を策定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、改善方向の継続性を大切にしながら取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、朝読書の取組など、教職員全体が信頼関係の下、組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートを実施し、結果をクロス集計して課題を析出するなど丁寧に分析して学校自己評価のための情報を収集している。学校関係者の意見などを適切に改善に生かしており、次年度の課題・改善策として継続的に取り組んでいる。	
特記事項			